

# 第3回巴川水系流域委員会

令和2年8月18日（火）

静岡土木事務所

# 目 次

|                                        |                |
|----------------------------------------|----------------|
| 1. 議事事項                                |                |
| （１）第２回流域委員会での意見と対応について                 | ・ ・ ・ ・ ・ P.3  |
| （２）巴川水系河川整備計画【変更】原案に<br>寄せられた意見と対応について | ・ ・ ・ ・ ・ P.8  |
| （３）巴川水系河川整備計画【変更】案の<br>費用対効果について       | ・ ・ ・ ・ ・ P.17 |
| 2. 報告事項                                |                |
| （１）今後の手続きについて                          | ・ ・ ・ ・ ・ P.19 |



# (1) 第2回流域委員会での 意見と対応について

## 第2回流域委員会での主な意見と対応



### 【意見 No5①、②】

- ・ 巴川河口の水門について、景観を考えれば、大船渡で12mのフラップゲート建設に取り組むような事例もあり、新しい技術で検討してほしい。
- ・ 水門について、平常時の港の景観を考慮し、新しい技術で考えていく、という主旨を入れてほしい。

### 【対応】

水門計画位置となる河口部の港湾都市としての景観に調和した整備を行っていききたい。また、水門形式については最新の知見を踏まえて検討していききたいと考えており、その旨整備計画変更（案）に記載した。

#### （エ） 津波対策水門（巴川河口）

##### a 設置箇所

水門設置箇所は、施工性、経済性、河川環境への影響等を総合的に比較評価した結果、実施箇所は、下図に示す河口0.0km付近とする。

##### b 工事の内容

河口部については、「計画津波」の遡上を考慮し、周辺の海岸堤防の整備状況を踏まえて水門を新設する。

整備にあたっては、希少種の生息域などの自然環境に配慮するとともに、日本三大美港である清水港の景観との調和に努める。水門形式については、最新の知見を踏まえて検討を行う。

さっちゃんNEWS part1

### <海底設置型フラップゲートの試運転が行われました！>

大船渡漁港海岸高潮対策工事を行っている組港地区において、航路切り替えるために海底設置型フラップゲートの試運転が行われました。

普段は船の航路確保や景観面を配慮して、扉体が海中に係留されていますが、津波襲来時には係留フックが解除され、扉体の内部に貯めてある空気により無動力で浮上する仕組みになっています。浮上後は津波・高潮による潮位上昇に伴う水位差を利用して、所定の角度まで無動力で起立し、港内側の水位を保持します。

港外側 港内側

平常時

津波来襲時 (押し波)

津波来襲時 (引き波)

出典：大船渡水産振興センター「復興版」第87号

巴川水系河川整備計画（変更修正原案）p79

※文章を抜粋

## 第2回流域委員会での主な意見と対応



### 【意見 No9①】

- 本文P21の追記表現（麻機遊水地の自然環境）に対し、見た目は自然豊かかもしれないが、実際は偏った植生環境になるなど、むしろ後退している状況なので再考願いたい。

### 【対応】

ご意見にある偏った植生環境については、P52に「植生遷移によって多様性が減少している面が伺える」という箇所に反映されている。

P21の追記表現については、ご意見を踏まえ、「麻機遊水地は、市街地近郊の身近な自然景観と水辺景観を形成している」という、現整備計画本文の表現に修正する。

### ア 巴川

#### （ア） 上流部及び麻機遊水地周辺

巴川の上流部は、山地河川の様相を呈しているが、葵区北地先（県営麻機羽高団地付近）では、河川縦断勾配は1/250程度となり、掘り込み河道の形状をなしている。

入り江であったとされる麻機遊水地周辺は、低地盤で河川縦断勾配が緩いため、水はけが悪く、洪水後の水が引くのに数日を要したと伝えられる。現在この付近は、比較的地盤の高い周辺部には流通センターなどの商業施設が立地しているものの、田畑の広がるエリアは市街化調整区域として残されており、一部は麻機遊水地として整備が進みつつある。

また、麻機遊水地は、市街地近郊の身近な自然景観と水辺景観を形成している。

# 第2回流域委員会での主な意見と対応



黒字（第2回委員会時質疑応答） 青字（今回追加）

| No |   | ご意見                                                                                            | 意見に対する対応                                                                                                                                                                                   | 整備計画（案）           |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1  | ① | これまでの降雨よりも多く雨が降った場合の治水計画について、どのように考えているのか。遊水地の整備で間に合うとお考えなのですか。                                | 将来的な河川整備の目標を定めた河川整備基本方針においては、1／50確率規模の降雨に対して遊水地だけではなく巴川本川の掘削などを位置付けている。現在の基本方針は、策定当時の降雨データに基づいて計画しているが、今後、雨量が大きくなれば計画を見直す可能性はある。<br>なお、整備計画では段階的な整備目標として1／10確率規模の降雨を対象に計画を立てている。           | —                 |
| 2  | ① | 河川だけに負担をかけない治水対策について、そろそろ考えるべきではないでしょうか。                                                       | 県では、巴川水系で取り組んでいる総合治水対策について、流域住民の啓発活動として出前講座などを実施している。<br>また、大規模氾濫減災協議会を設け、国や市とも連携し、ソフト対策の強化も進めているところである。<br>総合治水の取組に関する啓発活動については、情報発信の内容、手法などを検討し、河川計画にも配慮したまちづくりにつながるよう、静岡市等と連携しながら進めて行く。 | P88～P90<br>(修正なし) |
|    | ② | 具体的な数字の目標や展開促進の仕組みづくりが必要である。教育による啓発だけでは間に合わないのではないかと。                                          |                                                                                                                                                                                            |                   |
|    | ③ | 過去に巴川の治水の教育を受けた人が今大人になってきており、治水や防災に理解はあるはずなので、対策の効果も含めて引き続き普及に努めていただきたい。                       |                                                                                                                                                                                            |                   |
|    | ④ | 本文では、ソフト面の対策がわかりにくい、できるだけ具体的な話を関係機関と協力して展開してほしい。家庭でやれることをPRしてほしい。                              |                                                                                                                                                                                            |                   |
| 3  | ① | 長尾川は集水域が広く、巴川の主要支川であるが、現状と今後の対策をどう考えているか？                                                      | 長尾川は、七夕豪雨での被災を踏まえて河川整備を行っており、現在の河川整備の目標規模は確保されている（1／30確率規模の整備が完了している）ため、現在は麻機遊水地や大谷川放水路の整備を行っている。ただし、長尾川は破堤すると大きな被害が生じる可能性が高いため、堤防天端を舗装することで、越水しても破堤しにくい構造への強化を行っている。                      | —                 |
| 4  | ① | 長尾川は土砂の供給が多い河川であるため、流れを確保するため浚渫が必要ではないか？                                                       | 長尾川は水量の少ない河川であり、土砂が堆積しているように見えるが、局所的には河床低下も生じている。治水上の支障となる土砂堆積が生じた箇所の浚渫を適宜行っている。また、巴川本川の掘削については、これから測量、設計していく段階で、ご意見いただきながら進めていきたい。                                                        | P74、P83<br>(修正なし) |
|    | ② | 長尾川は渇水時に枯れてしまう。長尾川を浚渫することで生息環境を創出できないか。<br>能島付近はかつてアユの産卵場があったが、既往の浚渫工事で消失した。今回の掘削で産卵場を造成できないか？ |                                                                                                                                                                                            |                   |



# 第2回流域委員会での主な意見と対応



黒字（第2回委員会時質疑応答） 青字（今回追加）

| No | ご意見                                                                                                                               | 意見に対する対応                                                                                                                                       | 整備計画（案）                  |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 5  | <p>① 巴川河口の水門について、景観を考えれば、大船渡で12mのフラップゲート建設に取り組むような事例もあり、新しい技術で検討してほしい。</p> <p>② 水門について、平常時の港の景観を考慮し、新しい技術で考えていく、という主旨を入れてほしい。</p> | 水門計画位置となる河口部の港湾都市としての景観に調和した整備を行っていきたいと考えている。<br>また、水門形式については最新の知見を踏まえて検討していきたい。                                                               | P68、P79<br>（修正）          |
| 6  | ① 麻機遊水地の生物調査はスポット的な調査しかしていない。<br>例えばコイの調査は、すべて外来種と決めていないか。メダカをみても在来種と外来種のハイブリットがみられる。自然再生を進めるならば遺伝子調査を行う必要がある。                    | 麻機遊水地の環境調査については、現在「麻機遊水地保全活用推進協議会」の活動の一環として行っており、鳥類と植物の調査に着手したところである。<br>協議会の中でも基礎調査の必要性を指摘されており、今後も協議会の取組として調査結果の蓄積を継続していく。                   | P57～P58<br>P85<br>（修正なし） |
| 7  | ① 麻機遊水地の生物調査の結果は、公表して広く利用できるようにしてほしい。                                                                                             | 麻機遊水地に関する生物情報については、冊子やホームページで公表しているところである。今後も生物調査結果等を踏まえた情報の更新を行うなど、情報発信に努めていく。                                                                | P85<br>（修正なし）            |
| 8  | ① 県としては麻機遊水地の自然再生に対する方向性をどのように考えているのか。「市が進める」という書き方は適当でないのではないか。                                                                  | 麻機遊水地の自然再生協議会については、「麻機遊水地保全活用推進協議会」の中の自然再生部会において、引き続き取り組みを進めている。今後も、協議会の会員と連携しながら、自然再生に資する活動を継続的にやっていく。                                        | P57～P58<br>（修正なし）        |
| 9  | ① 本文P21の追記表現に対し、見た目は自然豊かかもしれないが、実際は偏った植生環境になるなど、むしろ後退している状況なので再考願いたい。                                                             | ご意見にある偏った植生環境については、P52に「植生遷移によって多様性が減少している面が伺える」という箇所に反映されている。<br>P21の追記表現については、ご意見を踏まえ、「麻機遊水地は、市街地近郊の身近な自然景観と水辺景観を形成している」という、現整備計画本文の表現に修正する。 | P21<br>（修正）              |



## (2) 巴川水系河川整備計画【変更】原案に 寄せられた意見と対応について



# 1.意見募集の方法



- ◆ 県民意見募集（パブリックコメント）は、県ホームページや県窓口で河川整備計画（変更原案）を公表して、郵送、FAX、電子メールにて意見を約1か月間募集（令和2年3月23日～4月23日）
- ◆ 県民意見募集とは別に、流域代表者に計画内容の説明及び意見交換を開催（令和2年7月8日）

**住民の皆様へ意見募集します！**

**巴川水系の川づくりについて  
ご意見をお聞かせください**

令和2年4月吉日  
静岡県静岡土木事務所

●静岡県では、平成22年に二級河川巴川水系の河川整備計画を策定し、これまで麻機治水の整備などを進めてまいりましたが、計画策定から約10年が経過し、社会情勢等の変化による課題や、平成26年10月の台風18号への対応、静岡県第4次地震被害想定に対応した津波対策などを反映させるため、河川整備計画の変更を検討しています。

●計画の変更にあたり、地域にお住いの皆様の意見を計画に反映させるため、現在、巴川水系河川整備計画（変更原案）に対する「県民意見提出手続き（パブリックコメント）」を実施しておりますので、ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。

●巴川水系河川整備計画（変更原案）については、静岡県庁ホームページよりご確認ください。

**募集期間** 令和2年3月23日（月）～ 令和2年4月23日（木）

**提出方法** 持参、郵送、ファクシミリ又は電子メールのいずれか

**詳しい内容はこちら**

ホームページには、以下の手順でアクセスしてください。

- 静岡県庁トップページにある「県政情報」をクリック
- 「静岡県の情報公開」のバナーをクリック（下方にある緑色バナー）
- 「県民意見提出手続き」をクリック
- 「巴川水系河川整備計画（変更原案）」に関する県民意見募集をクリック

氏名及び住所を明記の上、右の宛先まで提出してください。  
お問い合わせもこちらまで。

●静岡県静岡土木事務所企画検査課  
〒422-8031  
静岡市駿河区有明町2番20号  
TEL 054-286-9322, FAX 054-286-9375  
メール shizudo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

**巴川水系河川整備計画の変更について**

**①治水方針策定**

➢ 現行の河川整備計画では、年超過確率1/10規模の降雨による洪水を安全に低下させるための河川整備（遊水地整備等）を進めている。

➢ しかし、平成26年10月台風18号は、現計画の計画規模を大きく上回るとともに、後方集中型の降雨特性により、巴川の水位がピークに達する前に、遊水地が満水となってしまう、洪水調整機能の限界を超えるなどの課題が発生した。

➢ 巴川及び大谷川放水路では、静岡県第3次地震被害想定に基づく河川津波対策が完了している。

（巴川は堤防嵩上げ、大谷川放水路は水門建設）

➢ しかし、静岡県第4次地震被害想定では、レベル1津波に対して必要な施設高が、現在完成している堤防及び水門の高さを上回ることが判明した。

**平成26年台風18号を考慮し、巴川本川の水位低下に対し、効果的な治水対策（河口～6.6kmの掘削）を位置付ける。**

**レベル1津波に対して必要な施設高を確保するため、水門の建設（巴川）・改良（大谷川放水路）を位置付ける。**

**①新たな治水対策**

現在の河川整備計画・流域治水対策計画に添えて、

- 巴川本川約6.6km掘削を実施すること。

巴川の下流部では平成26年10月の台風18号洪水（年超過確率1/10規模の降雨）に対して、流域内の床上浸水被害を約8割軽減することを目指す。

治水計画後 90% 削減

治水計画前 10% 削減

治水計画後 90% 削減

治水計画前 10% 削減

**②新たな津波対策関連**

津波対策関係の整備（ハード対策）として

- 河川に水門を整備すること。

静岡県第4次地震被害想定より算定された津波に対して必要な施設高は、巴川T.P.±9.0mを確保する。

| 施設名称  | 種別   | 整備位置   | 整備内容 | 整備高  | 整備時期  |
|-------|------|--------|------|------|-------|
| 17 水門 | 新規設置 | 巴川河口   | 水門   | 9.0m | 2030年 |
| 18 水門 | 改良   | 大谷川放水路 | 水門   | 9.0m | 2030年 |

治水計画後 90% 削減

治水計画前 10% 削減

**③整備経費**

➢ 基本理念は現行計画と同様とする。

➢ 対象範囲は追加する対策の範囲を考慮し、概ね30年（R21～R30）に実施する。

清水区自治会連合会常任委員会（R2.7.8）にて  
計画内容を説明、意見交換を実施

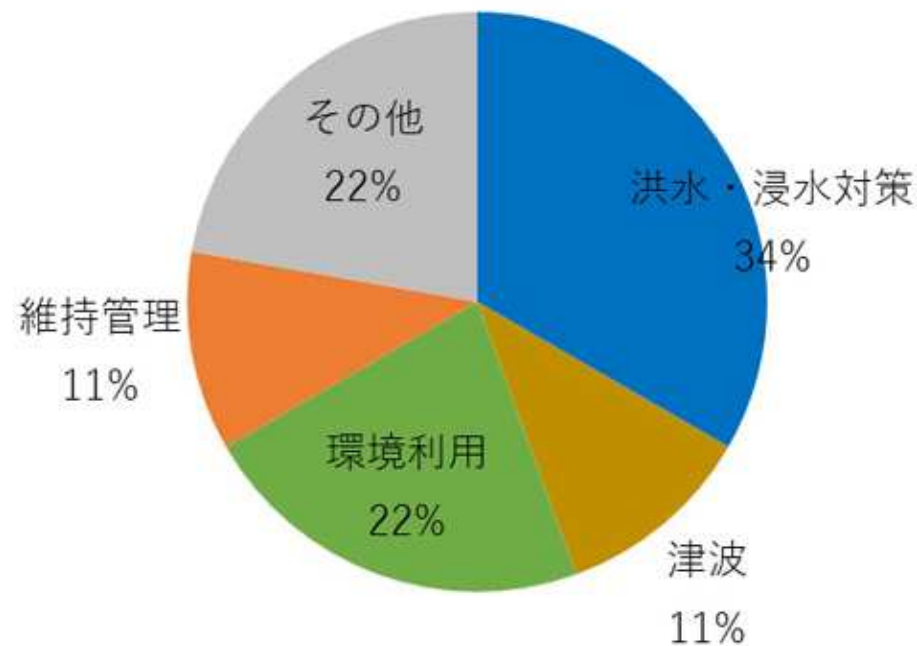
変更内容に関係する7連合自治会に、  
パブコメ実施のお知らせチラシを全組回覧

## 2.意見の集計結果



- ◆ 河川整備計画（変更原案）に関する意見は合計9件であった。
- ◆ 主な項目に分類すると、洪水・浸水対策、環境利用に関する意見が多い結果となった。

【意見提出数：9件】



| 洪水・浸水対策 | 津波 | 環境利用 | 維持管理 | その他 | 合計 |
|---------|----|------|------|-----|----|
| 3       | 1  | 2    | 1    | 2   | 9  |

## 4.「洪水・浸水対策」に関する主な意見

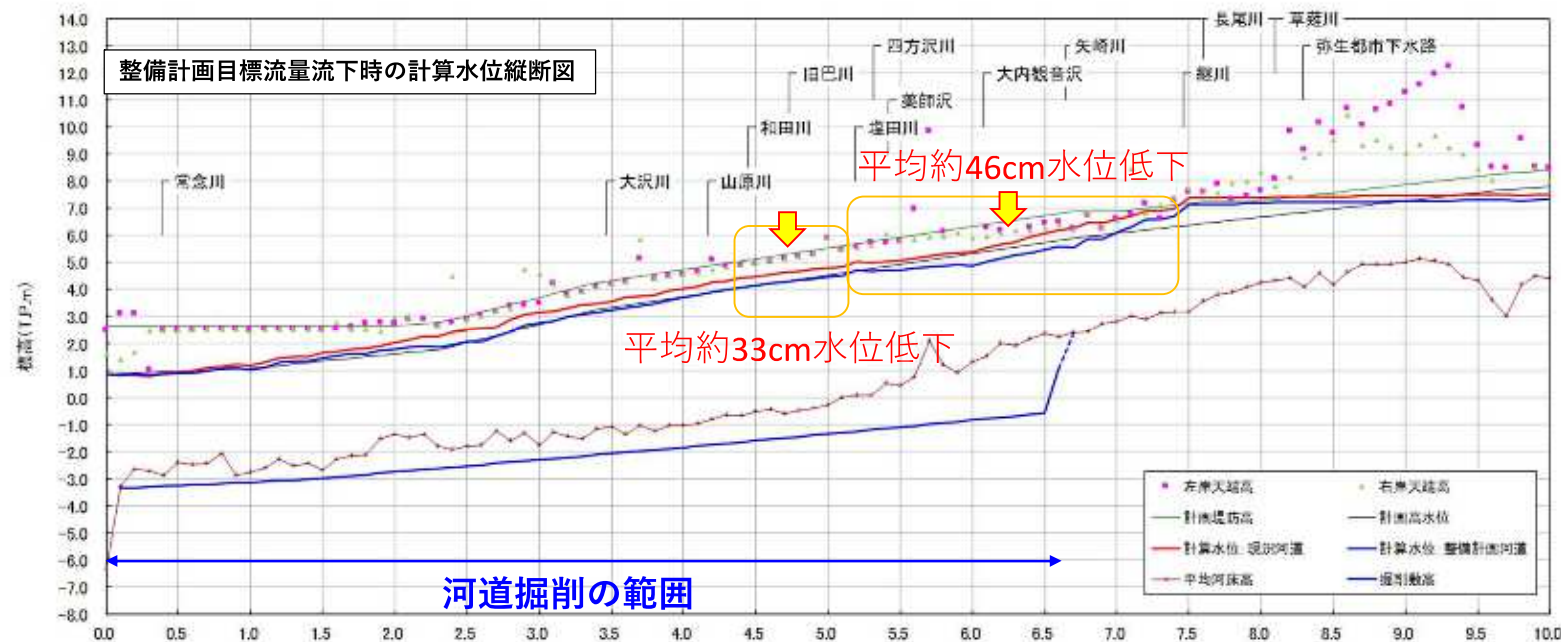


### 【意見】

- ① 巴川の水位上昇を抑えるか、支川（大内川）の内水が氾濫しないように巴川へ強制的に排水できる排水設備の設置をお願いしたい。（No1）

### 【回答】

- ① 今回の河川整備計画の変更では、巴川の河口（0.0k）から矢崎川合流点付近（6.6k）まで河道掘削を行い、洪水時の巴川本川水位を低下させる計画としている。巴川本川水位の低下により、近年最大の被害をもたらしたH26年10月豪雨に対しても、内水被害の低減が図られるものと考えている。また、静岡市が当該地区の内水被害軽減のために、和田川と大内川の合流点に雨水ポンプ場の建設を計画しており、今後整備を進めて行く。





## 4.「環境・利用」に関する主な意見



### 【意見】

- ① 河口～清水区能島までの親水性の向上に期待をしている。既存の浜田親水公園や江尻親水テラスなど巴川に親しむ場があるが、より有効活用できるような機会が生まれるといい、と思っている。（No5）
- ② 下水道が整備され、川魚（ボラ、鯉など）も見受けられ、かつての風流ある川になってきました。浚渫の実施、かつての風情ある川を取り戻してほしい。（No6）

### 【回答】

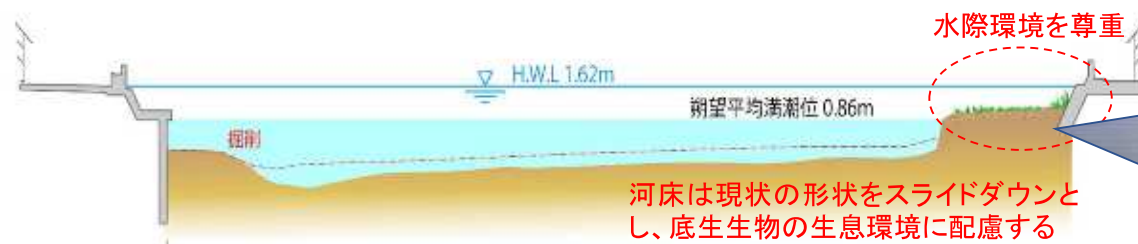
- ① 当該区間は市街地が連坦し、新たな親水スペースを創出することは難しいが、既存の親水施設を有効活用した地域活性化に資する活動等との連携を図る。（P89を修正）
- ② 河川改修では、河口（0.0k）から矢崎川合流点付近（6.6k）までの河道掘削を行う計画である。掘削に当たっては、水生生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出に配慮することとしており、千歳橋付近のヨシについてもできるだけ保全する工法を検討する。



江尻親水テラス



浜田親水公園



水際環境を尊重

河床は現状の形状をスライドダウンとし、底生生物の生息環境に配慮する

河川改修（掘削）のイメージ図

千歳橋付近のヨシ

## 4. 「維持管理」に関する主な意見



### 【意見】

- ① 稚児橋から巴川橋の入浜地区側の護岸が斜めになっているため、子供などが入り近隣住民より危険であろうという意見があります。  
また、その場所にある樹木の手入れは自治会の河川愛護事業の活動では不可能です。県又は市の作業車を手配して樹木の管理、清掃等をお願いしたい。(No7)

### 【回答】

- ① 堤防や護岸等の河川管理施設については、河川パトロールや巡視を通じて安全性等の状況を確認し、適切な維持管理を行う。
- ② 河川内の樹木についても、治水面、環境面から必要性を整理した上で、伐採等の適切な維持管理を行う。



稚児橋上流の護岸の状況



河川パトロールの状況



遊水地除草の状況

### 3.住民からの主な意見と対応



| NO | 項目          | 質問・意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 意見に対する対応                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 整備計画<br>(案)   |
|----|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1  | 洪水・浸水<br>対策 | <p>桜ヶ丘病院移転予定地だった近隣に住んでいる者ですが、毎年これからの雨が多くなる時期が来ると内水の氾濫による住宅への浸水が大変心配です。</p> <p>平成26年10月の台風18号の時は周囲一面湖となり、住宅はかろうじて床下浸水で済みましたが近隣の地区では床上の被害も発生しました。また昨年10月の台風19号でも同様の状態でした。</p> <p>通常この地区の内水は、押切地区の上部から大内川に集まり和田川から巴川に流れ出ますが、内水が氾濫してしまう原因は降雨量の増加により巴川の水位が上昇してしまうと和田川から流れ出なくなり、逆に巴川から和田川・大内川に逆流してしまい、大内川の周囲一面に氾濫してしまいます。</p> <p>また清水港の潮位の影響は清水衛生センターの上流までであるため、降雨による水位上昇時と満潮時が重なるとさらに巴川の水位が上昇して逆流が増加してしまいます。パイパスの南側の内水は巴川と塩田川の合流する近辺に排水口がありますが、巴川の水位が上がるとこちらでも排水できなくなります。</p> <p>今後、さらなる温暖化により集中豪雨の発生や降雨量は増加すると予想されており、整備計画の24時間降雨量は271.2mmのようですが先の台風18号では362.4mmとのことでした。昨年台風19号では600mmと予想され、床上浸水となっても家財は諦めて前日から飼犬を連れて避難しました。</p> <p>近い将来にはこの地区は内水の氾濫により、大きな被害が出るのが大変心配です。可能であれば浸水の心配をしなくてもいい所に引っ越したいと思いますが年金暮らしではそれも簡単にはできません。</p> <p>これからも、現在のところで台風が来ても安心して過ごせるように、巴川の水位の上昇を抑えるか、大内川流域の内水が氾濫しないように巴川へ強制的に排水できる排水設備の設置をお願い致します。</p> | <p>今回の河川整備計画の変更では、巴川の河口(0.0k)から矢崎川合流点付近(6.6k)まで河道掘削を行い、洪水時の巴川本川水位を低下させる計画としている。</p> <p>巴川本川水位の低下により、近年最大の被害をもたらしたH26年10月豪雨に対しても、内水被害の低減が図られるものと考えている。</p> <p>また、静岡市が当該地区の内水被害軽減のために、和田川と大内川の合流点に雨水ポンプ場の建設を計画しており、今後整備を進めて行く。</p> <p>引き続き静岡市と連携し、できるだけ浸水被害の軽減が図れるよう、流域が一体となった治水対策を進めていく。</p> | P73<br>(修正なし) |
| 2  | 洪水・浸水<br>対策 | <p>麻機遊水地の整備はどうするのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>現整備計画に位置付けた第2-1工区の遊水地整備を引き続き進めていく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   | P69<br>(修正なし) |



### 3.住民からの主な意見と対応



| NO | 項目          | 質問・意見                                                                                                                                                                                                                       | 意見に対する対応                                                                                                                                     | 整備計画<br>(案)              |
|----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 3  | 洪水・浸水<br>対策 | 勾配がない河川で1 m程度河床を掘削しても、治水能力が向上するのか。すぐに土砂が堆積するのでは。                                                                                                                                                                            | 巴川は潮位の影響も受けるが、計画の洪水を流せるよう、掘削断面を検討している。<br>周辺に人家が密集していることや、橋梁の根入れなどを考慮して、実現性があり早期着手が可能な河床掘削案を採用した。<br>堆積土砂については、引き続き適切に対応する。                  | P73～P74<br>P83<br>(修正なし) |
| 4  | 津波          | 水門の建設はぜひ進めてもらいたい。いつ水門建設の着手をしますか。                                                                                                                                                                                            | 巴川の河口部の水門整備は、今回変更する整備計画の対象範囲内に隣接する清水港の津波対策と調整して進めて行く。                                                                                        | P65<br>P79～P80<br>(修正なし) |
| 5  | 環境利用        | 洪水や津波対策との並行で難しいとは思いますが、河口～清水区能島までの親水性の向上に期待をしている。<br>既存の浜田親水公園や江尻親水護岸など巴川に親しむ場があるが、より有効活用できるような機会が生まれるといい、と思っている。                                                                                                           | 当該区間は市街地が連坦し、新たな親水スペースを創出することは難しいが、既存の親水施設を有効活用した地域活性化に資する活動等との連携を図る。                                                                        | P89<br>(修正)              |
| 6  | 環境利用        | 今から35年ほど前（1983年頃）浜松から清水に移住した時、夏季には巴川の悪臭に悩まされました。幸いにもその後、静清地区の下水が整備されました。<br>川魚（ボラ、鯉など）も見受けられ、かつての風流ある川になってきました。一層の川の趣を求めます。<br>1. 巴川橋／大正橋／千歳橋／八千代橋／間の浚渫を希望します。<br>2. カヌーを楽しみ、灯籠流しに集まり、風情ある川を取り戻したい。<br>(千歳橋辺りにあるヨシは保持して欲しい) | 河川整備計画の変更に当たり、ご指摘の区間を含む河口（0.0k）から矢崎川合流点付近（6.6k）までの河道掘削を行う計画である。<br>掘削に当たっては、水生生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出に配慮することとしており、千歳橋付近のヨシについてもできるだけ保全する工法を検討する。 | P73～P74<br>(修正なし)        |



### 3.住民からの主な意見と対応



| NO | 項目   | 質問・意見                                                                                                                                 | 意見に対する対応                                                                                                    | 整備計画<br>(案)   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 7  | 維持管理 | 稚児橋から巴川橋の入浜地区側の護岸が斜めになっているため、子供などが入り近隣住民より危険であろうという意見があります。<br>また、その場所にある樹木の手入れは自治会の河川愛護事業の活動では不可能です。県又は市の作業車を手配して樹木の管理、清掃等をお願いいたします。 | 堤防や護岸等の河川管理施設については、河川パトロールや巡視を通して安全性等の状況を確認し、適切な維持管理を行う。<br>河川内の樹木についても、治水面、環境面から必要性を整理した上で、伐採等の適切な維持管理を行う。 | P83<br>(修正なし) |
| 8  | その他  | 巴川の、エディオン辺りから能島の間、橋を作って欲しいです。かなり遠回りしないと渡れないので…。簡単には出来ないと思いますが、検討よろしくお願いします。                                                           | 道路管理者である静岡市に情報提供する。                                                                                         | —             |
| 9  | その他  | 47ページの「みなし浄化槽（単独浄化槽）が全体の75%を…」という情報は平成17年度時点の情報ではないか？<br>現時点の流域内におけるみなし浄化槽の割合を記載して欲しい。                                                | 最新（令和元年度）の数値に更新する。                                                                                          | P47<br>(修正)   |



### (3) 河川整備計画【変更】案の 費用対効果について



- ◆ 巴川の治水対策及び津波対策の総費用と、事業実施によりもたらされる総便益を算出
- ◆ B/Cが1.0以上であるため、事業の妥当性があるといえる。

| 治水対策（河道掘削） |        |        | 津波対策（水門建設） |        |       |
|------------|--------|--------|------------|--------|-------|
| B/C        | B：総便益  | C：総費用  | B/C        | B：総便益  | C：総費用 |
| 約1.6       | 約160億円 | 約100億円 | 約5.3       | 約480億円 | 約90億円 |

※治水経済調査マニュアル（案）国土交通省河川局H17.4に基づき算出  
 ※評価対象期間は整備期間+維持管理期間（50年）  
 ※総便益は、治水・津波便益（現在価値化）+残存価値（現在価値化）  
 ※総費用は、建設費（現在価値化）+維持管理費（現在価値化）



## 報告事項

### (1) 今後の手続きについて

# 今後の手続きについて



## 巴川水系流域委員会の進め方について

